

授 業 名 授 科 目	発達心理学I	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	1 年(前期)
担 当 教 員 名	藤 谷 智 子	単 位 数	1 単 位
		時 間 数	30 時 間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕 「発達心理学」という学問について理解し、主要な発達理論について学習する。 人の発達の特徴と発達原理を学び、さらに発達の各時期についての理解を深める。</p> <p>〔学習目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要な発達理論を説明することができる。 ・発達心理学の重要な用語の意味を説明することができる。 ・胎児期・乳児期・幼児期の主要な特徴を述べるることができる。 		
授 業 回 数	授 業 の 内 容		
第 1 回	I. 発達概念:発達とは何か、発達心理学と心理学		
第 2 回	II. 発達の研究方法:実験的方法と相関的方法、縦断的研究法と横断的研究法		
第 3 回	III. 発達の規定要因:遺伝と環境の相互作用、環境のとらえ方		
第 4 回	IV. 発達の原理:ヒトの発達の特徴、初期経験の重要性		
第 5 回	V. 発達の理論(1):認知の発達理論-ピアジェ理論の理解		
第 6 回	発達の理論(2):自己形成の発達理論と発達課題-フロイトとエリクソンの理論の理解		
第 7 回	VI. 胎児期の発達(1):胎児期の発達の様相、胎児の発達に影響を及ぼす要因		
第 8 回	胎児期の発達(2):胎児期の発達をめぐる問題		
第 9 回	VII. 乳児期の発達(1):乳児期の発達と生活、身体機能と運動発達、知覚と認知の発達		
第 10 回	乳児期の発達(2):社会性の発達、乳児期の発達環境		
第 11 回	VIII. 乳幼児の発達研究(1)		
第 12 回	乳幼児の発達研究(2)		
第 13 回	IX. 幼児期の発達(1):幼児期の発達と生活、認知の発達		
第 14 回	幼児期の発達(2):社会性の発達と心の理論、遊びと発達		
第 15 回	幼児期の発達(3):幼児教育・保育・子育て支援と子どもの発達		
評 価 方 法	学期末試験(70%)、授業中に提出するミニレポート(20%)、研究発表(10%)で評価する。		
教 科 書 参 考 図 書	〔教科書〕 使用しない 〔参考図書〕 授業中、適宜紹介する		
履 修 上 の 留 意 点	他の授業で学ぶ心理学に関する内容と関連づけながら、発達心理学における重要な用語についてしっかり理解すること。		
メ ッ セ ー ジ	授業中に紹介する参考図書も読んで、幅広い知識と多様な考え方を積極的に身につけること、そしてそれらをもとに自分なりの考えを持つことを期待します。		